

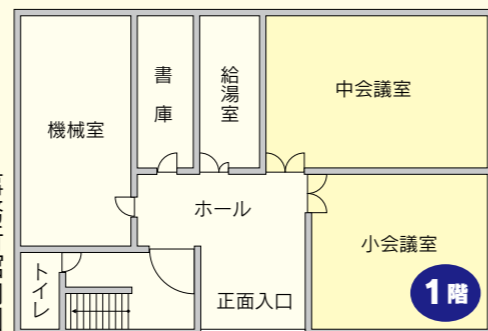
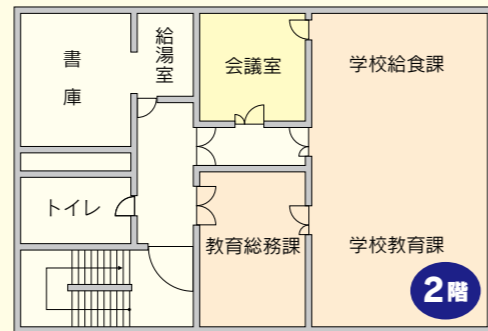
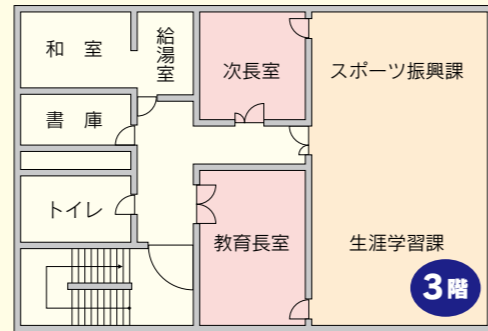
# 三好市教育委員会は 7月2日から移転します。

中央公民館内（旧池田公民館）にありました三好市教育委員会事務局が、7月2日から下記の場所へ移転します。なお1階の会議室は市民開放いたします。お気軽にご利用ください。

名称 三好市教育委員会庁舎  
電話 教育総務課：72 - 3555（代表）  
所在地 〒778-0003 三好市池田町サラダ 1737-1



新事務所位置図



事務所館内図



## 姉妹都市使節団の 受入家庭を募集。

姉妹都市のアメリカ合衆国オレゴン州ダズズ市から訪問する高校生5名（男子1名、女子4名）と引率者1名のホストファミリーを募集します。英語が話せなくても大丈夫ですので、ふるってご応募ください。  
※お申込み多数の場合は、抽選になることがありますので、ご了承ください。  
※滞在期間中、昼間は交流委員会でご日程を組んでいます。都合の悪い日や時間がありましたら当委員会で調整いたしますので、お気軽にご相談下さい。

**募集対象**  
三好市全域・12家庭  
(前・後半各6家庭)

**日程**  
8月14日(火)～22日(水)  
前半「14日～18日」  
後半「18日～22日」  
18日にはホストファミリーの引き継ぎ

**申込締切**  
6月29日(金)

**申込方法**  
【FAX・電話でのお申し込み】  
折り返し申込書をお送りいた

**【申込用紙でのお申し込み】**  
市役所まちづくり推進課および各総合支所市民課に用紙を置いていきますので、ご利用下さい。  
※お申し込み先は、申込書に記載されています。  
**お問い合わせ先**  
三好市姉妹都市交流委員会  
松端(まつのはな)  
電話・FAX 72・5278

## 救急救命士の 気管挿管実習にご協力を！

誰もが自分や家族の身に不慮の事故が発生し、救急救命士の応急処置を受ける可能性があります。現在、心臓や呼吸が停止している患者に対して救急救命士が行う救命処置を高度化する取り組みが始まっています。その一つとして平成16年7月から、これまで医師のみが行うことを認められていました気管挿管の実施が、救急救命士にも認められるようになりました。しかし、救急救命士が気管挿管を行うには、病院内での30例の実習が必要です。みよし広域

連合消防本部では、平成17年10月から県立三好病院で実習を開始しました。  
この実習を行うのは、気管挿管のための講習を修了した救急救命士だけで、麻酔科の医師が常時救急救命士に付き添って指導にあたり、通常の麻酔科医が行う場合と同様の安全性を確保しながら行います。  
気管挿管の実習を行う際には、前もって救急救命士と救急救命士を指導する麻酔科の医師が患者さんに気管挿管の実習について説明を行い、必ず同意の

上で行います。実習に同意されない場合でも患者さんが不利益を受けることはありません。  
救急救命士の能力を高め業務を拡大することは、心肺停止患者の救命率の向上に必ずつながるはずですので、一人でも多くの「救えるはずの命」を救うため市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。  
**お問い合わせ先**  
みよし広域連合消防本部警防課  
電話 76・5119  
FAX 76・5120



## 三好市合併1周年記念 四国アイランドリーグ公式試合

平成19年7月29日(日) 三好市吉野川運動公園 池田球場  
午後1時プレイボール



徳島インディゴソックス

VS

香川オリーブガイナース



三好市合併1周年を記念して四国アイランドリーグ公式試合を開催いたします。白熱したプロのプレイを真近で見れるチャンスですので、どうぞご来場ください。試合を観戦するにはチケットが必要です。7月2日以降、三好市役所まちづくり推進課及び各総合支所にありますので、ご希望の方はお受け取り下さい。

お問い合わせ 三好市まちづくり推進課(電話72-7607)

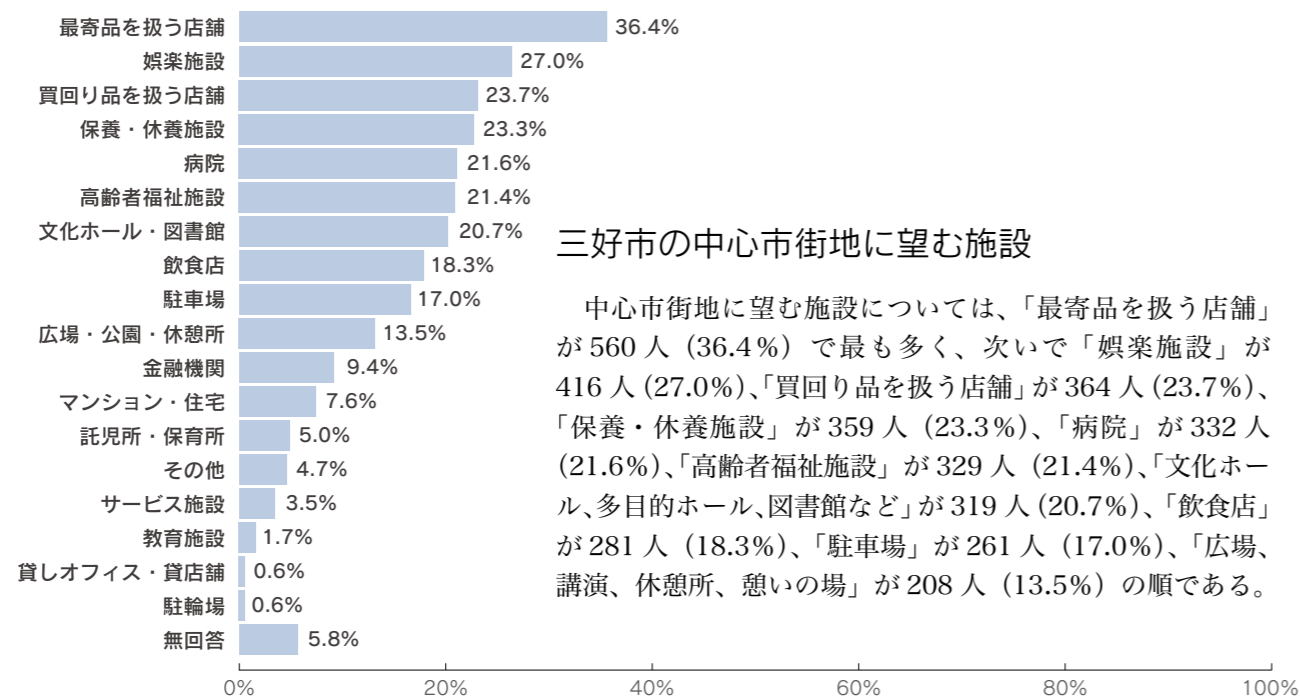
# 中心市街地活性化に関する市民意識調査を実施

現在、大都市や大企業においては景気復活の傾向にあるといわれていますが、地方都市や中小企業においてはまだまだ景気は低迷し、三好市においても人口の減少、少子高齢化が進み、特に市街地では空き家や空き店舗が増加するなど衰退傾向にあります。

この三好市に賑わいを取り戻し、地域経済を活性化させるためには、まず中心市街地が元気になることが大切であり、三好市全体への波及効果が生まれると考えます。

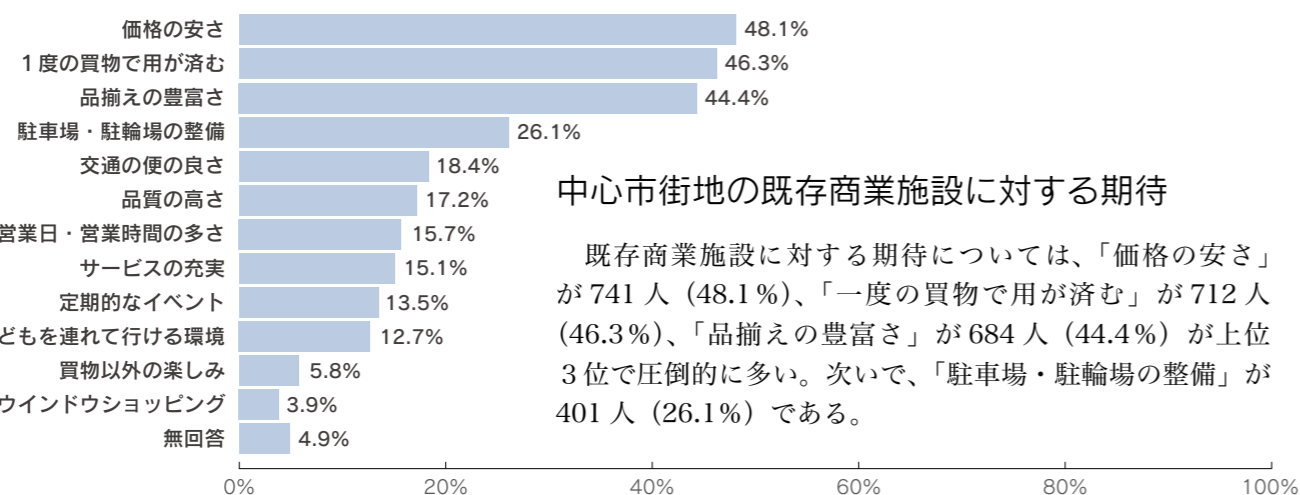
今回、公共公益施設と商店街などの商業施設が集積し、人口が密集している旧池田町の市街地を「三好市中心市街地」として、市民の皆様から見た「中心市街地」の現状や課題、消費者ニーズなどを把握し、活性化の方策を探るために「中心市街地活性化に関する市民意識調査」を実施しました。

現在、市では「三好市中心市街地活性化基本計画」の策定に向け推進委員会を設置し、この調査結果をもとに、対象区域や数値目標、事業計画をまとめ、商工会議所など民間と協力しながら、計画の策定を目指しています。



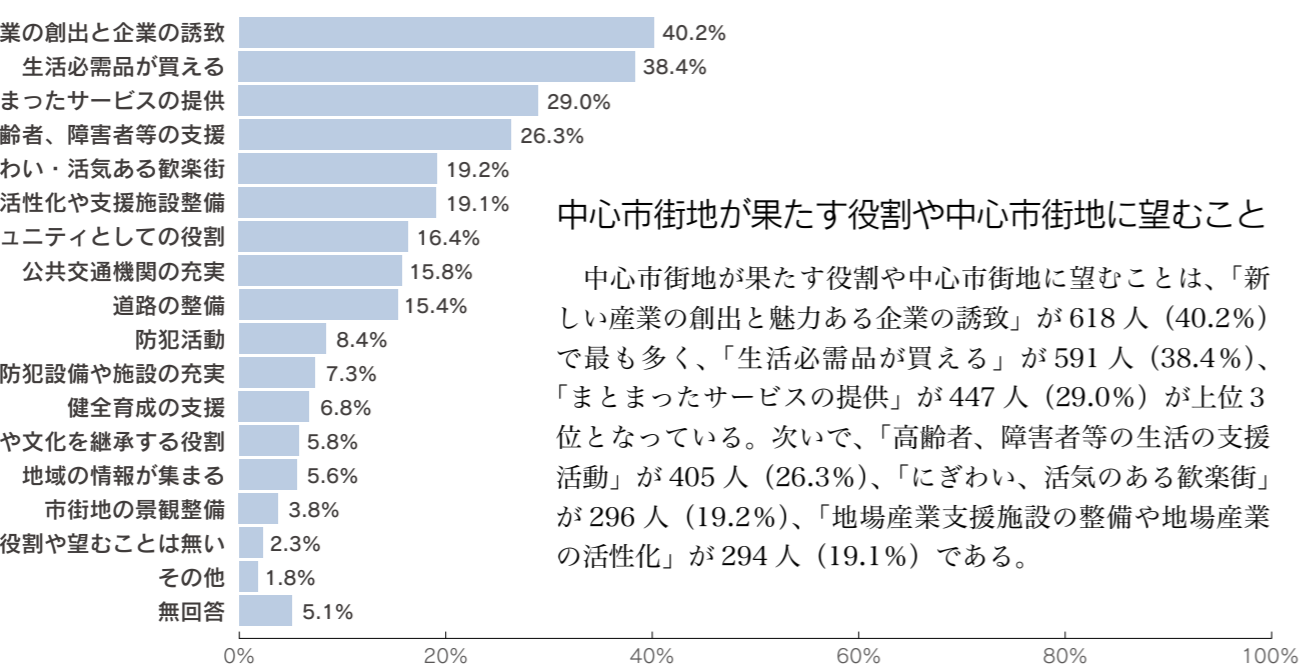
## 三好市の中心市街地に望む施設

中心市街地に望む施設については、「最寄品を扱う店舗」が560人(36.4%)で最も多く、次いで「娯楽施設」が416人(27.0%)、「買回り品を扱う店舗」が364人(23.7%)、「保養・休養施設」が359人(23.3%)、「病院」が332人(21.6%)、「高齢者福祉施設」が329人(21.4%)、「文化ホール、多目的ホール、図書館など」が319人(20.7%)、「飲食店」が281人(18.3%)、「駐車場」が261人(17.0%)、「広場、講演、休憩所、憩いの場」が208人(13.5%)の順である。



## 中心市街地の既存商業施設に対する期待

既存商業施設に対する期待については、「価格の安さ」が741人(48.1%)、「一度の買物で用が済む」が712人(46.3%)、「品揃えの豊富さ」が684人(44.4%)が上位3位で圧倒的に多い。次いで、「駐車場・駐輪場の整備」が401人(26.1%)である。



## 中心市街地が果たす役割や中心市街地に望むこと

中心市街地が果たす役割や中心市街地に望むことは、「新しい産業の創出と魅力ある企業の誘致」が618人(40.2%)で最も多く、「生活必需品が買える」が591人(38.4%)、「まとまったサービスの提供」が447人(29.0%)が上位3位となっている。次いで、「高齢者、障害者等の生活の支援活動」が405人(26.3%)、「にぎわい、活気のある歓楽街」が296人(19.2%)、「地場産業支援施設の整備や地場産業の活性化」が294人(19.1%)である。

### 調査概要

#### 調査期間

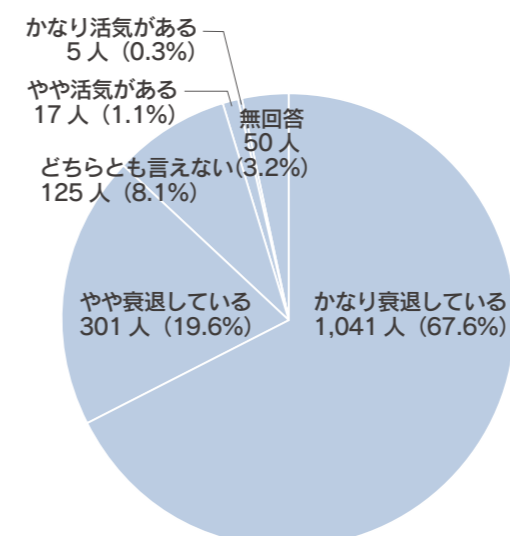
平成19年2月1日～平成19年2月17日

#### 調査方法及び回収率

調査票3000枚を、無作為抽出により選出した市民の皆様にお配りし、郵送による回収を行い、有効回答数1,539枚(回収率：51.3%)の回答を頂きました。

## 三好市中心市街地の現状

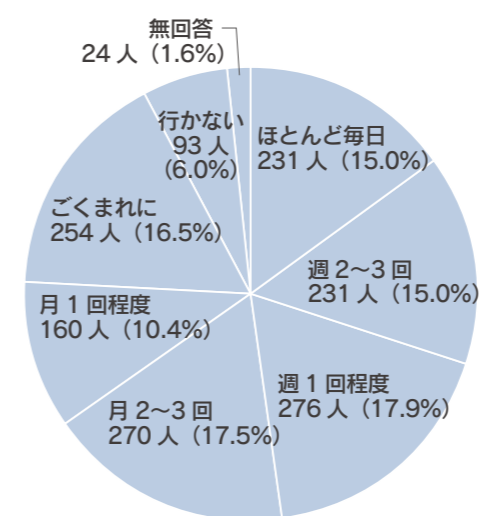
中心市街地の現状については、「かなり衰退している」が1,041人(67.6%)で最も多く、次いで「やや衰退している」が301人(19.6%)、「どちらとも言えない」が125人(8.1%)、「やや活気がある」が17人(1.1%)、「かなり活気がある」が5人(0.3%)の順である。



## 三好市中心市街地への来街

来街頻度については、「ほとんど毎日」と「週2～3回」がそれぞれ231人(15.3%)で最も多く、次いで「週1回程度」が276人(17.9%)、「月2～3回」が270人(17.5%)、「ごくまれに」が254人(16.5%)、「月1回程度」が160人(10.4%)の順であり、全体の9割以上の方が中心市街地に来街する。一方、「行かない」は93人(6.0%)とわずかである。

年代別では、20歳未満、20歳代、40歳代では「ごくまれに」が最も多いが「ほとんど毎日」が2位であり、「ほとんど毎日」については通学に伴う駅などの交通拠点の利用や通勤によるものと推察される。



この調査結果は、報告書から抜粋し掲載しております。

詳しくは、市のホームページをご覧ください。商工観光課までお問い合わせください。